



第5号
発行 平成6年11月1日
発行者 社団法人日本プールアメニティ施設協会
東京都新宿区新宿5-17-2
TEL 03-3209-0447
FAX 03-3209-6076

平成七年度 事業計画へ向けて

協会設立の趣意

今日、プールは教育や体力向上の場のみならず、憩いの場として健康増進の場として、また失われた機能を回復訓練する場として、健康の町づくりなど、広く国民に親しまれる存在となり、その数も急速に増加してきている。

加えて今日における国民の健康志向や今後の余暇時間の増加を考えると、国民に親しまれる施設として、プールはこれまでに以上に身近なものとして、国民生活に不可欠なようになっていくものと考えられる。このように泳ぎ能力を身につけるためのプールから始まり、今日のよう健康増進や休養等利用形態が広がっていくなかで、国民のプールへの関心も高まり、より快適なアメニティプールを求める声となつて現れてきている。

この声に応えるべく、関連業界においても技術開発を重ね、プールの水質改善はもとより、プール本体の材質や形状、暖房方法、省エネルギー、省資源等新しい技術を実用レベルまで高めつつある。

一方、プールの形態も、従来の季節プールに加えて、

通年で使用される屋内プールや、よりレジャー性を取り入れられたプール、同時に何千人が利用する大規模プールなど、形態も、多様化してきており、その衛生管理にもこれまで以上の配慮が求められるようになってきている。

プールの消毒面においては、これまで用いられてきた塩素消毒に加えて、オゾン処理や紫外線処理などの新しい水処理技術もプールに採用されるようになってきている。また、プールのろ過装置などの衛生設備も最新の技術が応用されるようになり、その性能も一段と向上してきている。

このような中で、プールを衛生的に管理するためには、水質はもとより衛生に係る多種多様な知識や技術が不可欠となりつつあることから、プールを衛生的に管理する専門技術者の養成も必要と考えられる。

このことから、厚生省によるプールの衛生基準に示された水質基準、施設基準および維持管理基準をプールの現業に広く適切に反映させ、プールアメニティを推進するため、さらに、これらの基準に適合するプール設備機器の開発の便宜を図り、会員によりプールの快適性を向上させるため規格・基準を作成普及し、維持管理のための専門技術者の養成を行い、あわせてプールの衛生に関する正しい知識を普及させるよう事業を推進している。

また、今日の技術水準に照らし、衛生設備の能力を十分に発揮し、設計仕様で求められた性能を十分に発揮させ、プールを安全衛生的に管理するには、水質はもとより衛生に係る多種多様な知識や技術が不可欠となりつつあることから、プールを衛生的に管理する専門技術者の養成も必要と考えられる。

このことから、厚生省によるプールの衛生基準に示された水質基準、施設基準および維持管理基準をプールの現業に広く適切に反映させ、プールアメニティを推進するため、さらに、これらの基準に適合するプール設備機器の開発の便宜を図り、会員によりプールの快適性を向上させるため規格・基準を作成普及し、維持管理のための専門技術者の養成を行い、あわせてプールの衛生に関する正しい知識を普及させるよう事業を推進している。

協会設立まで

昭和62年
有力会員によって、「健康の町づくり」をテーマとし、プール施設について調査を開始した。

昭和63年
厚生省保健医療局健康増進課、生活衛生局企画課の指導により、学識経験者・業界主要各社を集め、プールアメニティプロジェクト研究会を発足した。

昭和64年
海外・国内の文献調査を実施し、ドイツ、英国、スイスのプール設備・水質に関する基準を整理した。

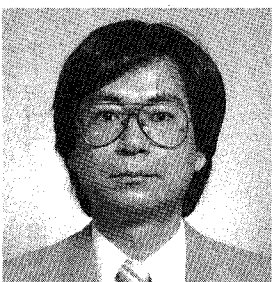
昭和65年
前年の文献調査結果を踏まえ、プールの実態調査を

昭和66年
厚生省保健医療局健康増進課、生活衛生局企画課の指導により、学識経験者・業界主要各社を集め、プールアメニティプロジェクト研究会を発足した。

昭和67年
海外・国内の文献調査を実施し、ドイツ、英国、スイスのプール設備・水質に関する基準を整理した。

昭和68年
前年の文献調査結果を踏まえ、プールの実態調査を

プールの衛生管理等の充実を



このたび九月二日付で厚生省生活衛生局企画課長補佐に就任いたしました金井でございます。

社団法人日本プールアメニティ施設協会におかれましては、平成四年十一月の設立以来、プールの衛生水準やアメニティの向上に関する事業に精力的に取り組んでいただいております。誠にありがとうございます。

さて、二十一世紀の到来を間近に控え、生活衛生行政を取り巻く状況は、疾病構造の変化や高齢化の進展、国民のニーズの多様化、高度化により著しく変化してまいりました。生活衛生行政の一翼を担うプールの衛生管理等についても、より

一層の取り組みが求められております。さらにプールは、憩いやレジャーの場であるいは健康増進の場として、また、高齢者のリハビリテーションの場として、幅広く活用されるようになってきております。

こうした中で、プールの衛生水準をはじめ、利用形態に合った施設の設置や維持管理が適切に行われ、快適で衛生的で安全なプールを提供することがますます重要となってきております。

厚生省としては、従来からプールの水質基準についての通知を出し、プールの衛生管理の充実を促してきましたが、平成四年四月に「遊泳用プールの衛生基準について」を通知し、プールに関する衛生基準の大幅な改正を行い、現在、これに基づく指導を行っております。また、プールの安全で衛生的な維持管理を行うためには、専門的な知識を持った衛生管理者を置く必要があるため、貴協会等の

健康

低成長経済下で、日本人の高齢化は毎年確実に進んでいる。健康の町づくりに始まるプールアメニティ作りに協力するメンバーで、構成される協会も発足以来丸2年を経過しつつあります。

プール衛生管理者の講習はすでに2ヶ所を重ね、プールの衛生環境確保に役立つと考えます。プールで使用する水処理周辺の機器について、認定基準を作成し、良品の普及に努める方針が着実に展開されているのは、会員各位の協力と、厚生省生活衛生局企画課のご支援によることと大であると思います。

認定機器で構成されるプール遊泳施設についても適合施設の表示を行うなど、利用者の皆様に内容を充分ご理解いただくための努力をする必要があると思っております。

プールの衛生や設備について我が国では、法令が完備していない。あるのは、厚生省の通知、文部省の通知だけであり、水泳日本を主張するフィールドが充分に用意されていない。

水泳と遊泳の区分もそれほど明確になっておらず、もっぱら、遊泳用プールは、学校教育以外の水泳施設に適用され、目的性が明確にならない条件下で、運用されている。

運動量を測定可能あるいは、測定しやすい条件下にある運動施設を用いた運動、特に有酸素運動として水泳、遊泳を広く普及しなければならぬ。



このたび九月二日付で厚生省生活衛生局企画課長補佐に就任いたしました金井でございます。

社団法人日本プールアメニティ施設協会におかれましては、平成四年十一月の設立以来、プールの衛生水準やアメニティの向上に関する事業に精力的に取り組んでいただいております。誠にありがとうございます。

さて、二十一世紀の到来を間近に控え、生活衛生行政を取り巻く状況は、疾病構造の変化や高齢化の進展、国民のニーズの多様化、高度化により著しく変化してまいりました。生活衛生行政の一翼を担うプールの衛生管理等についても、より

一層の取り組みが求められております。さらにプールは、憩いやレジャーの場であるいは健康増進の場として、また、高齢者のリハビリテーションの場として、幅広く活用されるようになってきております。

こうした中で、プールの衛生水準をはじめ、利用形態に合った施設の設置や維持管理が適切に行われ、快適で衛生的で安全なプールを提供することがますます重要となってきております。

厚生省としては、従来からプールの水質基準についての通知を出し、プールの衛生管理の充実を促してきましたが、平成四年四月に「遊泳用プールの衛生基準について」を通知し、プールに関する衛生基準の大幅な改正を行い、現在、これに基づく指導を行っております。また、プールの安全で衛生的な維持管理を行うためには、専門的な知識を持った衛生管理者を置く必要があるため、貴協会等の

このたび九月二日付で厚生省生活衛生局企画課長補佐に就任いたしました金井でございます。



法令・安全について講演する
厚生省生活衛生局企画課
厚生技官足立先生



プール衛生管理者講習会で
開講の辞を述べる竹中会長

7 その他本協会の目的達成のために必要な事業。
注………部分は追加。
平成 6 年度
【事業の状況】
(1) プール衛生管理者講習会
平成 6 年度は 6 回開催を予定し、全国各都道府県・政令市・特別区衛生主官部局および全国各保健所のプールを担当している部局に講習会の開催通知をしている。
募集人員は 100 人。
第 10 回 東京（東京総評会館）
平成 6 年 5 月 23・24 日
第 11 回 福岡（電気ビルホール）
平成 6 年 6 月 29・30 日
第 12 回 東京（東京総評会館）
平成 6 年 9 月 7・8 日
第 13 回 大阪（大阪厚生年金会館）
平成 6 年 10 月 19・20 日
第 14 回 仙台（水産会館）
平成 7 年 2 月 15・16 日
予定
第 15 回 東京（東京総評会館）
平成 7 年 3 月 15・16 日
予定

- ◆講習内容
- ① プールの衛生基準と関連制度
 - ② プールの事故防止対策
 - ③ プールの衛生
 - ④ プールの構造並びにプールの設備
 - ⑤ プールの設備のメンテナンス（省エネルギーを含む。）
 - ⑥ プールの水質管理並びに水質分析
- ◆費用 35,000 円（テキスト代込）
- (1) メンテナンス技術者講習会
平成 6 年度は 3 回開催を予定している。
募集人員は 100 人。
第 5 回 東京（東京総評会館）
平成 6 年 9 月 20 日
第 6 回 大阪（大阪厚生年金会館）
平成 6 年 11 月 16 日
第 7 回 東京（東京総評会館）
平成 7 年 2 月 21 日 予定

- ◆講習内容
- ① プールの衛生基準と関連制度
 - ② プールの事故防止対策
 - ③ プールの衛生
 - ④ プールの構造並びにプールの設備
 - ⑤ プールの設備のメンテナンス（省エネルギーを含む。）
 - ⑥ プールの水質管理並びに水質分析
- ◆費用 18,000 円（テキスト代込）

平成七年への取組

平成六年度に、新たな取組として、公共プールに向けて、情報サービスを行なうことや、多面的なコンサルティングを行うことを考慮して、定款の見直しを行ない、関係部局に相談をしているところである。特に我が国におけるプールの衛生を始めて、機器等のハードウェアについての研究は充分に広く知らしめるに至っていない事は周知の事と思っております。

当協会の目的である調査研究の為に、平成七年度は注力し、遊泳用プールの衛生面、運営面（省エネルギー、省力化、来場者確保）

平成六年度に、新たな取組として、公共プールに向けて、情報サービスを行なうことや、多面的なコンサルティングを行うことを考慮して、定款の見直しを行ない、関係部局に相談をしているところである。特に我が国におけるプールの衛生を始めて、機器等のハードウェアについての研究は充分に広く知らしめるに至っていない事は周知の事と思っております。

当協会の目的である調査研究の為に、平成七年度は注力し、遊泳用プールの衛生面、運営面（省エネルギー、省力化、来場者確保）

プール衛生管理者講習会 平成 7 年度計画案

この講習会は、厚生省の「遊泳用プール衛生基準」に定めたプール衛生管理者養成の講習会を開催している。

回	開催地（場所）	開催日
16	東京（未定）	平成 7 年 5 月 18 日（休）～19 日（休）
17	大阪（未定）	6 月 15 日（休）～16 日（休）
18	東京（未定）	10 月 19 日（休）～20 日（休）
19	長岡（未定）	11 月 16 日（休）～17 日（休）
20	大阪（未定）	平成 8 年 2 月 15 日（休）～16 日（休）
21	東京（未定）	3 月 14 日（休）～15 日（休）

※会場等の都合により予告なく変更される場合があります。

メンテナンス技術者講習会 平成 7 年度計画案

この講習会は、遊泳用プールに装備されている衛生設備等の各機器のメンテナンスが正しく効率的に行える専門的な知識と技術を身につける技術者を養成する講習会を開催しています。

回	開催地（場所）	開催日
8	東京（未定）	平成 7 年 5 月 6 日（休）
9	東京（未定）	10 月 27 日（休）
10	大阪（未定）	平成 8 年 2 月 23 日（休）

※会場等の都合により予告なく変更される場合があります。

遊泳用プール水処理装置 設備機器用語集

あ

アブソリュート
＜Absolute＞
膜濾過装置の項参照。

RNA
＜Ribonucleic Acid＞
リボ核酸のこと。
通常は 1 本鎖の核酸。タンパク質合成の際、細胞内で必要とされている。
RNA の中には DNA と同様、遺伝子の役割を担っているものもある。

え

厚生省生活衛生局長通知に示された、遊泳用プール衛生基準。
平成 4 年 4 月 28 日に通知されている。

い

インターロック
2 つの機械を相互間に条件を与える方法の一つ。
and Or の条件下で稼働することを表す。

ELB
＜Earth Leakage Breaker＞
漏電遮断器の略で、交流低圧電路の地絡及び感電保護用で、電流動作形遮断器、地絡保護の他過負荷短絡保護併用形もある。

う

ウイルス
直径 0.01 ～ 0.25 ミクロンの大きさの感染能を持つ因子の総称である。

え

エジェクタ
水の通路を一部細くし、捕捉した前後の差圧を利用し、液体や空気を水（一次側水流）に混合する場合に用いる。

お

オゾン処理装置
オゾンを利用した水処理システムの総称で、通常原料ガス（電解法では原料水）供給装置、オゾン発生器、オゾン反応処理装置及び排水処理装置を含むものである。

か

カートリッジ式濾過装置
濾過タンクの中に濾過能力に応じた本数のカートリッジ濾材を収容し、プール水を濾材外側から送り込み、濾材表面で粗いゴミを除き、濾材内層で微細なゴミを捕捉し、濾水をプールに還流する装置である。

き

逆浸透法
液体を加圧し、重力下浸透圧を強制的に変化させ溶液と溶質を分離させる方法の一つ。

け

珪藻土式濾過装置
珪藻土粉末又はこれに類する粉末を濾過助剤として濾過膜をつくり、これによってプール水を濾過する装置である。

こ

コロイド
水に懸濁している粒子のうち、およそ 1 ～ 1000 ミクロンの大きさの粒子をいう。
一般にコロイド粒子は水中でブラウン運動をしており、相互に反発しあっているため、安定な分散状態を保っている。

て水質基準値（12 mg/l 以下）が定められる。

プール水中の溶解性有機物は単純な砂濾過では除去できないため、補給水による希釈又は何らかの物理化学的な処理が必要となる。

SS（エス・エス）
一般構造用圧延鋼材を表す。

水中に溶けずに分散している不溶性の物質。

＜Suspended Solid＞

中心部にある核酸をタンパクの鞘が取り囲んだ構造で、すべての動物、植物、細菌に感染力を持ち、独自の代謝系を持たない。

リボ核酸のこと。

通常は 1 本鎖の核酸。タンパク質合成の際、細胞内で必要とされている。

RNA の中には DNA と同様、遺伝子の役割を担っているものもある。

厚生省生活衛生局長通知に示された、遊泳用プール衛生基準。

平成 4 年 4 月 28 日に通知されている。

オゾン処理装置

オゾンを利用した水処理システムの総称で、通常原料ガス（電解法では原料水）供給装置、オゾン発生器、オゾン反応処理装置及び排水処理装置を含むものである。

カートリッジ式濾過装置

濾過タンクの中に濾過能力に応じた本数のカートリッジ濾材を収容し、プール水を濾材外側から送り込み、濾材表面で粗いゴミを除き、濾材内層で微細なゴミを捕捉し、濾水をプールに還流する装置である。

逆浸透法

液体を加圧し、重力下浸透圧を強制的に変化させ溶液と溶質を分離させる方法の一つ。

珪藻土式濾過装置

珪藻土粉末又はこれに類する粉末を濾過助剤として濾過膜をつくり、これによってプール水を濾過する装置である。

コロイド

水に懸濁している粒子のうち、およそ 1 ～ 1000 ミクロンの大きさの粒子をいう。

一般にコロイド粒子は水中でブラウン運動をしており、相互に反発しあっているため、安定な分散状態を保っている。

高度水処理技術

プールの水質を改善する技術で、従来の濾過・塩素滅菌以上に改善できる技術の総称。

厚生省生活衛生局長通知に示されている技術としてオゾン処理・紫外線照射・プール管理マニュアルに示されている技術に膜がある。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

プレンの重合体で、天然ゴムの代替に用いられる合成ゴム。

珪藻土式濾過装置

珪藻土粉末又はこれに類する粉末を濾過助剤として濾過膜をつくり、これによってプール水を濾過する装置である。

逆浸透法

液体を加圧し、重力下浸透圧を強制的に変化させ溶液と溶質を分離させる方法の一つ。

珪藻土式濾過装置

珪藻土粉末又はこれに類する粉末を濾過助剤として濾過膜をつくり、これによってプール水を濾過する装置である。

コロイド

水に懸濁している粒子のうち、およそ 1 ～ 1000 ミクロンの大きさの粒子をいう。

一般にコロイド粒子は水中でブラウン運動をしており、相互に反発しあっているため、安定な分散状態を保っている。

高度水処理技術

プールの水質を改善する技術で、従来の濾過・塩素滅菌以上に改善できる技術の総称。

厚生省生活衛生局長通知に示されている技術としてオゾン処理・紫外線照射・プール管理マニュアルに示されている技術に膜がある。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

配管用炭素鋼網管で、使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いるものである。

SGP

テンレス網の種類を表すのに SUS の後にナンバを付し、網種を規定している。例・SUS304、SUS316L

紫外線照射装置

水処理における紫外線照射装置は、一般的に殺菌法のひとつと位置付けられている。プール水における紫外線照射装置は塩素消毒の代替技術としてではなく、不快臭や目の刺激等の原因物質である結合塩素(クロラミン)分解の有力技術として活用されている。プール水には石英管の表面に付着する汚れを除去するワイパー付きでない効果を得られない。紫外線光源として一般に蛍光灯状の低圧水銀ランプ方式と大量の中圧水銀ランプ方式がある。

集毛器

(ヘアキャッチャー) プール内に持ち込まれる毛髪、繊維、耳栓、木の葉などのような粗いゴミをポンプに入る前に取り除き、ポンプを保護するために設けられる機器。

CT値

薬品による殺菌・不活性化を示す数値で、殺菌(又はウイルス)を99%不活性化するために必要な薬品濃度C(mg/l)と接触時間T(min)の積で示される。

す

砂式濾過装置

濾過砂を濾材とする濾過装置で、濾過タンクの中に送り込まれたプール水は、散水装置により濾材表面に散水され、砂濾過層を支持層(砂利層)を通過して濾過され、濾水をプールに還流する装置である。

Y-Δ(スターデルタ)電動機(モーター)の起動方法の一つであり、起動時トルクに対応した起動電流を少なくする方法。スターデルタ結線という。

た

タールエポ

タールエポキシ樹脂のこと。エポキシ樹脂、コールド、ビチューメン、顔料、硬化剤及び溶剤を主原料とした2液性のもので、鋼管、タンク内面等を海水、淡水、高湿度から保護するために裏塗りとして用いられる。

タールエポキシニング

タールエポキシ樹脂のライニングのこと。タールエポ及びライニングの項参照。

タインオーバ

プール水量に対する24時間の循環水量の比をタインオーバという。これをNとすれば、N=24Q/V(Q:1時間の循環水量[m³/h]、V:プールの水量[m³])となる。Nはタイン数あるいは循環回数ともいう。平成4年4月28日付厚生省生活衛生局長通知では、1時間当たりプール保有水の1/6以上循環すること、これはタインオーバ4回以上に相当する。

ち

中空糸膜

中空の糸状に形成させた膜。織布や不織布等で膜外周を補強することなく、膜のみで耐圧強度を有する。通常、数mm以下の径の膜をキャピラリー膜、中空糸膜という。

て

電解法式オゾン発生装置

水を原料とし、これに直流の電気を流して電気分解することにより、プラス電極側から酸素とオゾンの混合ガスを発生させる、オゾン発生器の方式である。比較的高濃度のオゾンを生産させることができる特徴がある。

DNA

<Deoxy Ribo Nucleic Acid>デオキシリボ核酸のこと。右廻りの螺旋構造を持ち、動物植物のみならず微生物の細胞の核内に存在し、遺伝情報の伝達を行う。

に

乳酸

CH₃CHOHCOOHの分子式を有する潮解性の強い結晶。動物の筋肉、組織中に存在し、人の汗中には500~940mg/lも含まれ、プール水中の溶解汚染成分として主要なものである。

の

ノミナル

膜濾過装置の項目参照。

は

バランシングタンク

プールの脇に設置するポンプピットのことで、プールの府面と配管等で接続し、プール水の循環や排水のためのポンプのサクションピットの役割や、プールに給水をし、水位を確保するための役割を果たす。

ひ

非タンパク態窒素

体液または組織中の成分中タンパク質を除いた成分で、尿素、アンモニア、クレアチン、クレアチニン、尿酸その他のプリン誘導馬尿酸、アミノ酸及びジベプチドが主体である。

ビルビン酸

<Pyruvic Acid> 焦性ドゥ酸ともい、CH₃COOOHの分子式を持つ。刺激臭のある液体で、融点13.6℃、沸点165℃である。生体で各種の物質代謝経路を結ぶ重要な中間生成物である。

PE

<Polyethylene> ポリエチレンの略。

PSA法

<Pressure Swing Adsorption> 圧力によりガスを吸着・放出する特性を持つ特孔質体を用いて空気中の酸素などの特定のガスを濃縮する方法。

PVC

<Polyvinyl Chloride> ポリ塩化ビニールの略で、塩化ビニールを主体とする重合体の総称である。無味無臭、殆どの有機溶剤に不溶。フィルム、シート、及び各種成型品があり、可塑性の使用量によって硬質、軟質の製品に使い分けられる。

ふ

フミン質

非常に長時間にわたり腐植質が分解進行した結果生じた最終分解生成物に近いもので、安定な有機物が水に抽出されてきたものである。フミン質類は、自然界の植

物の分解に由来するばかりでなく、下水処理水やその他の生物処理を経た産業廃水の主たる有機成分としても普通に存在する。

プール衛生管理者

厚生省生活衛生局長通知にて定められた、プールの衛生的な管理の責任者。

ブリーツ型

カートリッジ式濾過装置の濾材の一種であり、微細な孔を開けた合成樹脂製又は紙を折り畳んで作ったもの。洗浄再利用可能なものもある。

分面特性

膜濾過装置の項参照。

Flux(フラックス)

膜装置に用いられる用語で、透過水量の意。

ま

膜濾過装置

プール水中の微細な懸濁物を除去する。細菌やウイルスも除去できる。分離膜の分離性能は、その膜の持つ膜孔の大きさによって決まる。しかし細孔の大きさはまちまちで、直接測定することは不可能であるため、球形に近いある大きさの粒子を排除する割合を測定し、90%以上排除されるような球形粒子の粒子径でその膜の分離性能を表示する。(ノミナル値) 100%分離する粒子径の値をアブソリュート値という。

ら

ライニング

金属の表面を防護するため、その表面に他の物質を比較的厚く被覆すること。金属・無機物質などを溶射・焼き付け・はり合わせなどで被覆する無機質ライニングと、有機物質を流動浸せき・溶射・塗布・はり合わせなどで被覆による有機質ライニングとがある。容器の内面に金属の薄板、ゴム、ガラスなどを内張すること、又は内張。

み

ミクロン

長さの単位で、記号はμ。マイクロナイト(μm)の慣用名である。1μ=10⁻⁶m=10nm。密度勾配カートリッジの外側

と内側の糸密度の差をいう。ミルシート<Mill-Sheet>金属材料の含有成分を表示する品質検査証。

mW・s/cm²

紫外線照射処理における紫外線照射量の単位。塩素やオゾンによる消毒法では、通常その注入率(濃度)と接触時間が消毒効果の目安とされている。

無声放電式オゾン発生装置

一對の導電体(一般に金属)電極間に、ガラス等の絶縁物(誘電体ともいう)を介して、交流の高電圧を加えた場合に生じる、一對の電極間全体で一に持続される静かな放電を利用したオゾン発生器を無声放電式という。

む

無電圧接点 接点作動側からは接点部へ電源供給のない方式の接点で、ドライ接点ともいう。電気接点の開閉を信号とする出力として利用される。

ろ

濾過エレメント

カートリッジ式濾過装置の充填物で、濾材に相当する。

平成5年度プール調査の結果について

標記については、「特定建築物に対する立ち入り調査等の状況の調査について」(平成5年12月22日付衛企第156号本職通知)により依頼したところであるが、このたび、プールに係る調査結果を別添1のとおり取りまとめたので、参考まで送付する。なお、プール管理の衛生管理については、「プール管理の衛生基準について」(平成4年4月28日付衛企第45号厚生省生活局長通知)に基づき、その衛生確保に格別な御配慮を御願ひしているところがあるが、今回の調査結果では、管理責任者及び衛生管理者の配置状況等、プールの実態等についての把握が十分になされていない向きがあるとともに、管理責任者等が設置されていない施設も多く見られることから、貴職におかれましては、下記の点について関係者への御指導方よろしく御願ひする。記 1、管理責任者及び衛生管理者が、未設置のプールに対しては、管理責任者等の設置に努めるとともに、特に衛生管理状況の徹底について指導されたいこと。 2、衛生管理者の資格については、「プール管理の衛生基準について」(平成4年12月11日付衛企第122号本職通知)において示しているところであるが、社団法人日本プールアメニティ施設協会により別添2のとおりプール衛生管理者講習会が開催される予定であるので、活用されたいこと。

プール調査表

都道府県名	条 例 等 名	遊泳用プール			(備考) 学校用プール数
		プール数	管理責任者数	衛生管理者数	
北海道	遊泳用プールに関する衛生指導要綱	398	285	259	604
青森県	—	70	61	58	280
岩手県	—	78	63	42	480
宮城県	—	52	52	52	508
秋田県	—	102	102	31	422
山形県	—	93	78	75	422
福島県	福島県遊泳用プール管理指導要綱	185	179	—	830
茨城県	茨城県遊泳用プール衛生指導要綱	177	177	30	881
栃木県	—	182	179	156	608
群馬県	—	140	140	1	511
埼玉県	埼玉県プール維持管理指導要綱	277	225	174	1,293
千葉県	遊泳用プール指導要綱	341	309	185	1,074
東京都	プール等取締条例	736	736	736	2,498
神奈川県	神奈川県水浴場等に関する条例	542	542	—	—
新潟県	—	104	52	38	878
富山県	—	119	119	4	271
石川県	—	104	96	49	253
福井県	—	43	42	2	258
山梨県	山梨県プール維持管理指導要綱	81	81	—	265
長野県	—	173	—	—	687
岐阜県	岐阜県プール指導要綱	122	122	122	489
静岡県	静岡県遊泳用プール衛生管理指導要綱	361	361	351	890
愛知県	愛知県プール条例	297	297	297	1,135
三重県	水浴場指導要綱	193	193	—	597
滋賀県	滋賀県遊泳用プール条例	136	136	6	346
京都府	—	95	—	—	567
大阪府	大阪府遊泳場取締条例	264	264	222	936
兵庫県	遊泳用プール監視指導要綱	217	217	—	862
奈良県	—	86	84	84	377
和歌山県	—	31	24	20	80
鳥取県	—	36	35	0	174
島根県	島根県水浴場管理指導要綱	57	57	55	284
岡山県	—	121	121	113	589
広島県	水浴場管理指導要綱	61	48	26	484
山口県	—	111	110	95	417
徳島県	—	48	48	48	311
香川県	—	—	—	—	—
愛媛県	—	76	76	76	484
高知県	高知県プール等管理指導要綱	45	23	21	378
福岡県	福岡県遊泳用プール指導要綱	132	129	116	1,169
佐賀県	—	65	65	54	242
長崎県	—	54	—	—	224
熊本県	—	71	54	21	—
大分県	大分県プール維持管理要綱	65	—	—	522
宮城県	—	32	18	6	456
鹿児島県	—	94	93	82	673
沖縄県	—	82	82	55	277
小計	—	6,949	6,175	3,772	25,986
注1: 衛生管理者・管理責任者の数は施設数である。					
注2: 遊泳用プール数等は都道府県・政令市において把握できた数を計上しておりは実数と不明確なものを要す。					
注3: 兵庫県・衛生管理者・管理責任者の区分無し					
都道府県名	条 例 等 名	プール数	管理責任者数	衛生管理者数	(備考) 学校用プール数
札幌市	札幌市プール指導要綱	64	63	63	181
小樽市	小樽市プール指導要綱	5	5	5	8
函館市	—	10	0	0	44
仙台市	—	46	45	45	184
千葉市	—	45	45	—	30
横浜市長	神奈川県水浴場等に関する条例	228	228	—	—
川崎市	神奈川県水浴場等に関する条例	162	159	—	76
横須賀市	神奈川県水浴場等に関する条例	80	80	0	7
新潟市長	新潟市プール指導要綱	19	19	19	104
金沢市長	—	21	21	21	92
岐阜市長	岐阜市プール指導要綱	19	19	19	102
静岡市長	—	24	19	19	102
浜松市長	—	32	26	4	—
名古屋市長	愛知県プール条例	133	133	133	434
京都市	—	65	—	—	—
大阪市	大阪府遊泳場取締条例	115	115	—	—
堺市	大阪府遊泳場取締条例	27	27	14	132
東大阪市	大阪府遊泳場取締条例	15	15	15	—
神戸市	大阪府遊泳場取締条例	77	64	37	—
尼崎市	尼崎市遊泳用プール指導要綱	22	22	22	81
姫路市長	姫路市市遊泳用プール指導要綱	23	19	—	—
和歌山市	—	55	—	37	122
広島市長	—	41	—	—	—
呉市長	—	9	9	6	41
下関市長	—	13	13	12	61
福岡市長	—	49	49	49	232
北九州市	—	69	69	69	241
大牟田市長	—	5	5	0	39
長崎市長	—	19	19	19	93
佐世保市長	—	22	22	0	60
鹿兒島市長	—	28	28	—	—
鹿児島市長	—	17	17	—	89
小計	—	1,559	1,410	636	2,535
合計	—	8,508	7,585	4,408	28,521

